

第 379 回昭和の森自然観察会

初心者向けバードウォッチング

芳我めぐみ（千葉市）

日 時：2024 年 1 月 14 日（日）10：00～12：00 天候：晴れ

参加者：24 名（大人 22 名 子ども 2 名）参加指導員：10 名 事務所：1 名

担当指導員：坂本・芳我

前日の雪が残り雪化粧の中での観察会になった。観察会開始直前、近くの木にアカゲラを発見。幸先良いと期待を胸に観察会開始。

植込みの茂みからウグイスの地鳴き。空にはカラスの声。バードウォッチングは先ず声に耳を傾け声の主を探す。これが大事なことだと何回か説明する。カラスは 2 種類の声、澄んだ声はハシブトガラス、濁った声はハシボソガラス。声を頼りにシジュウカラも見つけた。種子の一番の運び屋はヒヨドリ。クロガネモチ、センダンで実を食べている姿を見られた。下夕田池ではカモ類、カワウ、オオバンなどを望遠鏡で観察。オオバンの弁足を近くで観察。ビオトープの水面は凍っていたがセグロセキレイが歩いていた。よく似ているハクセキレイと違って日本の固有種。ヒヨドリと共に外国の野鳥愛好家の人気者だそう。鳥を見つけるには耳を澄まして聞き耳を立てること。声の主の鳴き声（地鳴き、さえずり）、鳥の好む環境、居そうな環境を知ることが大切だと説明する。波型に飛ぶヒヨドリ、直線的なムクドリ、幹をグルグル登るコゲラ… 形態を知ると鳥の観察も一層楽しくなる。参加者が多かったので二班に分けた方が良かったのではと指導員の意見があった。担当者の私の力不足によるところで申し訳なかった。一緒だったからの良いことも。至近距離で観察できたメジロの可愛さを共有できたことは良かったことの一つ。知識豊富な坂本さんの話を聞いて良かった。参加者からは耳で聞く大切さがよくわかった。久しぶりに遠くを見た若者。事故なく観察会終了できて ホッ

【観察できた鳥】△は下見時のみ

オカヨシガモ マガモ カルガモ ホシハジロ △カイツブリ キジバト カワウ △アオサギ オオバン コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス △ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ アカハラ ツグミ △ハクセキレイ セグロセキレイ アオジ（以上 26 種）



クロガネモチの実には次々とヒヨドリが



見つけた！コブシの枝にシジュウカラ